



慶應義塾大学ビジネススクール

(株)ライブドア

---2005年 ニッポン放送株買収---

「胸がわくわくする」

ニッポン放送株買収を巡って争ってきたフジテレビジョン(以下フジ)とライブドアは2005年4月18日午後、和解することで合意した¹。

もともとフジは、フジの大株主であるニッポン放送の株式に対して、TOB(株式公開買い付け)を発表していた。しかし2月8日に、ライブドアが東京証券取引所の時間外取引で、ニッポン放送株を大量取得したと発表し、以降マスメディアをにぎわす大騒動になっていた。

両社の合意内容は以下のようであった。

- ① フジ側はライブドアがグループで保有するニッポン放送株1,640万10株(発行済み株式の50.00003%)をすべて買い取り、ニッポン放送を子会社化する
- ② フジはライブドアが実施する第三者割当増資(発行済み株式の12.7%相当)を440億円で引き受ける
- ③ 放送とインターネットを融合する形での業務提携は、新設する提携委員会で具体的な中身をつめる

フジによる株式の買い取り価格は1株当たり6,300円となり、ライブドアの増資引き受けなどを合わせた支払総額は1,473億円となった。ライブドアの推定平均取得価格6,286円よりわずかに高く、フジのTOB価格5,950円を上回る。

4月18日夕方。都内の高級ホテルで開かれた共同記者会見では、出席者の表情が対照的だった。「胸がわくわくする」と終始笑みを浮かべたライブドア社長・堀江貴文に対し、フジ会長・日枝久は「株主や視聴者、従業員、社会全般へ影響を考えればこれが満足すべきもの」と苦渋に満ちた表情で語った。一方で実務部隊として和解をまとめ上げたフジ社長・村上光一は「ともかくほっとした。これがすべて」と語った。

この取引で、ライブドアが得た利は大きい。フジ側から得た資金に加えて、さらにこの2カ月半の間、連日報道され続けた広告宣伝効果は「プロ野球参入の比じゃない」(ライブドア幹部の話)。

実際インターネットの利用者動向調査では、4月上旬のライブドアホームページの利用者は2カ月前に比べて約24%伸びた。

¹日本経済新聞 2005.4.19、日経ビジネス 2005年4月25日・5月2日号などより

このケースは慶應義塾大学ビジネススクール山根 節が、公表資料をもとに、クラス討議の資料として作成した。

(協力:M25杉山大輔 2005年5月制作)